広報 いまかね

教養をたかめ楽しく生活できる平和な町にいたしましょう。　（町民憲章より）



開基80周年
町制施行30周年

特集号



本日、開基八十周年並びに町制施行三十周年記念広報特集号の発行にあたり一言ご挨拶申しあげます。

かえりみますと、本町の開拓は今から約三百四十年前の寛永十一・二年頃、利別川上流において盛んに砂金を採取したのが創始とされ、当時、日高東部一帯は幕府直轄の御領地であった金は、本町産の砂金を使用したものと伝えられております。

その後数量の減少によって砂金採取は中絶したのでありますが、安政年間には、箱館奉行の巡視により美利河満俺鉱が発見され、明治維新後は発掘の許可を得て事業を開始、さらに、明治十三年には美利河・花石においてメノウ・マンガンが採掘されたのであります。次いで、明治十九年には、東京の人、雨宮敬次郎が鉱物探険を行ない、同二十四年砂金鉱の許可を得て花石に人夫三十数名を移住させて事業を継続したのであります。以上のように本町の開拓は、鉱業が先駆をなしたものであります。

一方、本町の農業開発は、北海道開拓使の命により、明治二十四年三月、犬塚毅氏らの土地貸付を受けて、京都同志社大の学生、丸山要次郎氏外数名が、北海道にキリスト教徒の一大新天地を建設しようと、固い信仰と不屈の精神をもってイマヌエルに入植、さらに二十六年四月、愛媛県人、今村藤次郎、金森行助両氏が移住民十数戸を募って今金に入植したのであります。今村氏は早稲田大学政治経済学部を卒業後、北海道開拓の重要性にかんがみ、非常な決意をもって渡道し、土地開墾のかたわら、入殖者の団結心を固めるとともに、相互扶助の精神を昂揚し、醇朴で堅実な風習の村づくりに努力したのであります。



開拓者精神を受け継ぎ 住みよい町づくりに努力

今金町長　河端　豊

定を計画し、宅地を百二十九区画割り、役場・警察等の予定を設けるほか、商業者の移住をすすめたことにより、今日の一大市街地が形成されたのであります。

かくして本町の開発は、明治三十年に至り、急激な移住者の増加により同年六月十三日に瀬棚村から分村し、戸長役場が設置され、翌五年には花石～今金間に待望の鉄道が開通、同七年には瀬棚今金の開通を見るに至り、さらには郵便局の開設に伴ない、各部落との電話も開通し、農村漸く文化生活に変ってまいりました。

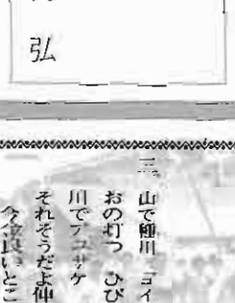
昭和二十三年には、開基五十周年を契機に町制を施行し、町名も利別村から、本町開拓の親今村・金森両氏の頭文字を組み合せ〝今金町〟と改称して今日に及んでいる次第であります。以来諸般の活発な事業促進により本町は総合的に開発され現在の姿になっておりますが、この開前人未踏のこの地に入殖され、猛なお暗き原始林を切り拓き、熊や狼と闘い朝に月を頂き夕に星を仰いで、あらゆる困苦欠乏に耐えながら、文字どおり不撓不屈の精神によって今日の隆昌の礎を築かれた先人先輩のご労苦に対し深甚なる感謝と敬意を表するとともに、本町の歴史に光をそえて、これを次代に伝えることを固く心に銘じている次第であります。

お陰をもちまして町政が日々進展を続けることができますのも、偏にひとえに国・道をはじめ関係機関のご懇切なご指導と町民各位の力強いご支援とご協力の賜でありまして深く感謝の意を表するものであります。ここに開基八十周年並びに町制施行三十周年記念広報発刊にあたり一言お祝いを申し上げます。

今金町開基八十周年並びに町制施行三十周年記念広報特集号発刊にあたり一言お祝いを申し上げます。

顧りみますと当町の歴史は今から約三百四十年前の寛永年間に利別川上流における砂金採集に始まり、明治三十年に瀬棚町から分村して当町に戸長役場が置かれ開基の礎が築かれたのであります。

以来幾多の変遷を経つつ発展を続け昭和二十二年町制を施行して今日に至ったのでありますが、ここに開基八十年・町制施行三十年を顧りみ将来への発展の決意を新たにされますことはまことに意義深く御同慶に耐えないところであります。当町の今日の繁栄は開拓当初における先人の苦労に負うところが大きく昼なお暗き原始林に斧を振い田畑を拓きあるいは砂金・メノウ・マンガン採集など苦しい開拓時代にもかかわらず、勇気と気概に満ちた先人の努力に想いをいたしますとき、町民の皆さまとともに限りない敬意を表するとともに本日この喜びの日を迎えることができましたのは町理事者・町議会議員をはじめとして住民各位の一致団結した努力の賜と存じ重ねて敬意を表する次第であります。当町は恵まれた自然条件のもとに農業をはじめとする各分野にめざましく進展がみられ、とくに利別川流域は良質米の産地として広く知られるに至り道南一の穀倉地帯さらには酪農地帯としてまことに前途洋々たるものがあり将来が大いに期待されているところであります。申すまでもなく町



今金町の限りない 前途を祝福して

北海道知事　堂垣内　尚弘

今一度先人の方々の偉業を偲ばれてその貴重な体験に学び、さらに限りない未来に向って理想的な郷土づくりを進められますよう切に期待してやみません。

また、多年にわたり町勢発展のために御功績をあげられ晴れて表彰の栄に浴された皆様に対し心からお祝い申し上げます。

終りに今金町の前途を祝福するとともに町民の皆様の御健勝をお祈りしてお祝のことばといたします。



今金音頭

一、メップユラップ　ヨイ　ヨイ
どんとたたいた　胸に
黄金波打つ五万石　サテ
それそうだよ伸びゆく所
今金良いとこ　よいとこそだち

二、農男マンガン　ヨイ　ヨイ
いさゆの　ピリカ
わたしゃ日本の花メノウ　サテ
それそうだよ伸びゆく所
今金良いとこ　よいとこそだち

三、山で種川　ヨイ　ヨイ
おの打つ　ひびき
川でアユザケ　水しぶき　サテ
それそうだよ伸びゆく所
今金良いとこ　よいとこそだち

四、むかし恋しや　ヨイ　ヨイ
神仏　あたり
共にすごした　何十年　サテ
それそうだよ伸びゆく所
今金良いとこ　よいとこそだち

年　　号	おもなできごと
寛永 11～12年 文化年間	日光東照宮御営用の砂金採集 再度の採金作業によりカニカン金山発見
安政年間	箱館奉行鉱山開発のため美利河、住吉に役所を置く 箱館奉行の巡見により美利河マンガン鉱発見
安政４年	松浦武四郎、国縫より利別川探険


△イマヌエル開拓地

明治２年	甚五平など数団体砂金を採集
明治13年	大島勘左エ門、花石、美利河でメノウ、マンガン採集
明治19年	雨宮敬次郎、美利河地帯の鉱物探険
明治24年	犬養毅ら土地貸付を受け、京都同志社学生10名神丘に移住
明治26年	今村藤次郎、金森石郎移民15戸今金に入地 神丘へキリスト教徒集団移住。 瀬棚～国縫間道路開通


△戸長役場

明治27年	今金、花石に駅逓所開設。加藤政之助外29名北海道拓殖組合結成、農民を種川に移住させる
明治28年	神丘に利別教会建立
明治29年	今金八幡宮創立
明治30年	瀬棚町より分村。戸長役場開設。利別郵便局開局。美利河巡査派出所開設



今村藤次郎翁像

今金町民憲章

自然の恵み豊かにしていよいよ伸びゆくところ、それはわたくしたちの今金町です。

わたくしたち町民は、祖先ののこした開拓精神と郷土愛とを受けつぎ、力を合わせ心をひとつにして理想郷の建設を念願し、この憲章を定めます。

民主主義に徹し、生活を合理化して近代的な町にいたしましょう。

健康で勤労にはげむ明るい町にいたしましょう。

技能をみがき産業の開発に努め豊かな町にいたしましょう。

教養をたかめ楽しく生活できる平和な町にいたしましょう。

年　　号	おもなできごと
大正２年	大凶作に見まわれる
大正５年	八雲～今金町間に定期馬車開通。大洪水あり
大正８年	今金市街地に点灯開始。農産物検査所利別派出所設置
大正９年	神丘、南利別土功組合設立。国縫～瀬棚間バス道路完成し、乗合バス走る
大正11年	南利別信用購買販売組合設立
大正12年	電話開通


▲本町市街地

昭和４年	国縫～花石間鉄道開通。１級町村制施行
昭和５年	花石～今金間鉄道開通


△ピリカ温泉


△国縫～瀬棚間定期バス

昭和６年	６月役場庁舎全焼。消防ポンプ導入
昭和７年	利別産業組合設立。国鉄瀬棚線全線開通
昭和８年	12月役場庁舎落成。土木現業所開設。字名地番改正

年　　号	おもなできごと
明治31年	金原明善、鈴木藤太郎共同で金原、鈴金に48戸移住させる 村医をおく。キリスト青年会結成、インマヌエル教会建立。利別川大洪水。神丘に簡易教育所開設。プラオ移入


△南金原農場


▲利別川大洪水

明治33年	江差警察署利別分署設置。利別村農会設立
明治36年	八雲まで八東経由客馬車通る
明治38年	熊石から仔牛導入。第２利別尋常小学校校舎新築落成
明治39年	４月、２級町村制施行。村会議員選挙。各地で水田試作はじまる
明治42年	富田優市街に村医として入地 利別川大洪水。と畜場設置。今金市街地町区画改正。日進に桧山支庁殖民地区画を設定
明治43年	美利河温泉発見。国縫～瀬棚間乗合馬車開通 利別消防組設置


△利別消防組

年　　号	おもなできごと
	今金支署開署。救急業務開始。今金町農民連盟発足。光の里学園落成開園。特別養護老人ホーム豊寿園着工。今金町観光協会発足。結婚相談所開設。日進酪農研修センター落成。中里へき地保健福祉館落成。 今金町全域がダイヤル通話
	▲町民センター
昭和50年	八束小中学校全焼新築。豊寿園開園。商工団地造成。総合体育館着工。美利河温泉一帯が自然休養林に指定。日進寿の家落成
昭和51年	今金小百合保育園開設。総合体育館落成。美利河ダム実施設計調査開始。 第２次農業構造改善事業、第２次山村振興特別対策事業に着手。インマヌエルの丘80年記念碑建立。金原部落80周年記念。近隣公園着工。 学校給食センター着工。住吉生活改善センター落成。今金簡易水道増補改良工事完了。鈴蘭会館落成
	▲総合体育館
昭和52年	学校給食センター落成、全町小中学校完全給食開始 開基80周年記念、町制施行30周年記念

年　　号	おもなできごと
	▲開基70周年記念
昭和45年	彰される。へき地患者輸送車運行 総合計画づくりに着手。日進共同模範牧場着工。山村振興事業開始。鈴金生活改善センター落成。277号線国道昇格
昭和46年	第１回産業まつり開く。国道277号線全面舗装。町内会を再編成種川地区に簡易水道設置。花石、南岸生活改善センター落成
	▲第一回産業まつり
昭和47年	山村開発センター着工。中央線街路事業に着手、豊田橋完成。老人医療費を無料化。今金北桧山高校統合。今金高原模範牧場完成。種川生活館落成
昭和48年	豊田、日進中学校が今金中学校に統合。町民センター落成。今金小学校校舎落成。国保病院増築しリハビリ施設開設。保健所新庁舎落成。土地開発公社設立。総合計画基本構想を策定。地籍調査に着手。消防庁舎着工。光の里学園着工。花石地区に簡易水道設置。第１回牧場まつり開く。広報いまかね全国コンクールで入選。豊田生活館落成
昭和49年	豊田部落80周年記念。消防庁舎落成。桧山広域消防組合消防署

年　　号	おもなできごと
	療所開所
昭和34年	ＮＨＫ今金放送局開局
昭和35年	今金橋完成
昭和36年	クレードルアスパラ工場完成
昭和37年	第１次農業構造改善事業計画地域指定
昭和39年	今金市街地に簡易水道設置。大通り舗装工事完成。第１次農業構造改善事業に着手
	▲明治乳業今金工場
昭和40年	役場新庁舎着工。農協ライスセンター完成
昭和41年	美利河別分校、芦川分校廃校。役場新庁舎落成。急行「せたな」運行。児童プール完成。 道営客土事業完工。北桧山国営かんばい事業着工。母と子の家落成
昭和42年	開基70周年記念。今金駅舎落成。農村集団電話開通
昭和43年	今金農協と今金酪農協が合併。今金電報電話局開局。青少年会館落成。駅前広場造成
昭和44年	神丘小中学校全焼改築、神丘中学校は今金中学校に統合。今金小学校校舎改築着工。歩道橋、信号機設置。振興山村地域に指定される。 全国町村会から優良町として表
	▲農協デパート

年　　号	おもなできごと
	▲開通時の鉄道
昭和11年	種川郵便局開局
昭和17年	利別森林組合設立
昭和19年	利別産業組合を利別農業会に改組
昭和21年	今金消防団設置。今金消防本部落成
昭和22年	10月１日、町制施行。利別村を今金町と改称 今金保険所開設。今金町体育協会設立
昭和23年	今金町警察署、今金町農業協同組合、今金町開拓農業協同組合、今金高等学校開設
昭和24年	今金町酪農業協同組合設立
昭和25年	明治乳業今金工場開設。都市計画地に指定
	▲利別産業組合
昭和26年	今金中学校新築落成
昭和27年	今金商工会創立。今金土地改良区、函館開建利別川今金改修事務所開設。今金町教育委員会設置。日進産のカヤ伊勢神宮造営に移出
昭和28年	今金保育所、今金幼稚園開設。今金公民館開館
昭和29年	今金営林署開庁。今金農協デパート落成
昭和32年	開基60周年記念
昭和33年	今金町史発刊。今金町立国保診



午前九時、打ちあげ花火を合図に千三百人のパレードから、町の発展に尽くした先人の労苦をしのぶとともに、郷土今金町の繁栄を願って多彩な祝賀行事が繰り広げられました。町のシンボルとしての母子像「平和」の除幕式、「開拓物故者献花式」「記念式典」「祝賀会」と共に「今金しぐれ」の発表、又、「町民マラソン大会」を始めとする体育祭・記念文化祭等々、まだ皆さんの思い出も新しい事と思います。



おごそかに

═開拓物故者献花式═

一、開式のことば	今金町助役	久保田常次
一、追悼のことば	今金町長	河端豊
一、献花	今金町長	河端豊
	今金町議会議長	今野伝
	遺族代表	今村由井子
一、黙とう		
一、閉式のことば	今金町助役	久保田常次

═記念式典═

町内外の祝福の中

一、開式のことば	今金町助役	久保田常次
一、式辞	今金町長	河端豊
一、表彰状並びに感謝状贈呈		
一、祝辞	衆議院議員	田中正巳
	衆議院議員	阿部文男
	北海道知事	堂垣内尚弘
	道議会議員	小沢栄吉
	道議会議員	松崎義雄
	檜山町村会長	高根沢正男
	檜山議長会長	林一郎
	今金町収入役	飯田政市
一、祝電披露		
一、閉式のことば	今金町助役	久保田常次





はなやかに

═祝賀会═

一、開会のあいさつ	今金町議会議長	今野伝
一、祝盃		
一、余興	「今金しぐれ」	今金民謡クラブ
	狩場太鼓保存会	
	鬼能太鼓保存会	
一、万歳三唱		
一、閉会のあいさつ	今金町議会副議長	大越藤夫

記念事業

事業名	内容
町花・町木の設定	町民からのアンケートより決定（52・6・16） 町花＝チューリップ　町木＝イチイ
記念植樹	町木のイチイを記念として 総合体育館前に植樹
記念像の設置	「平和」像と名づけ役場庁舎前に建立
今金民謡の製作	民謡クラブにおいて 「今金しぐれ」を製作
町勢要覧の作成	記念町勢要覧の発行
広報特別号の発行	記念行事等の特集号の発行
記録写真の集録	記念事業等の写真集録

記念行事

行事名	期日	場所
祝賀パレード	52年7月15日	今金市街地
記念像除幕式	7月15日	役場庁舎前
記念祝典	7月15日	町民センター
NHK芸能	7月16日	総合体育館

町民文化祭		
囲碁・絵画・写真	52年7月17日	町民センター
茶道	8月21日	町民センター
生花展	9月20日	町民センター
クッキング・詩吟大会	10月16日	町民センター
マミーコーラス・琴	10月22日	町民センター
ハム公開実演会	11月5日	町民センター前
第八回今金町文化祭	11月5・6日	町民センター
少年少女かるた大会	53年1月9日	町民センター
町民百人一首大会	1月22日	町民センター
将棋大会	2月5日	町民センター

町民体育祭		
町民マラソン大会	7月16日	市街地周辺
野球大会	7月17日	開発・今中グラウンド
テニス大会	9月18日	高美公園コート
町民体育祭	9月4日	今金中学校グラウンド
卓球大会	9月18日	総合体育館
バドミントン大会	9月25日	総合体育館
バレーボール大会	53年1月22日	総合体育館
バスケットボール大会	2月5日	総合体育館

産業まつり	8月14～16日	今金市街地
敬老の集い	9月11日	町民センター
郷土を築く青年大会	53年2月26日	町民センター
文化講演会	53年2月26日	町民センター

その他協賛行事		
小中学生体育大会	52年7月8日	今金中学校グラウンド
フランク永井ショー	8月17日	総合体育館
管内町村職員野球大会	8月27・28日	開発・今中グラウンド
小中学生作品展示会	11月16日	町民センター

今金町の発展に寄与された方々を表彰

表彰状贈呈者

自治功労者

順不同・敬称略


安部義雄（83歳・栄町）


斎藤房由（69歳・豊浦町）


今野　伝（60歳・末広町）


藤村徳蔵（67歳・八幡町）


丸山九内（72歳・寿昇）

加藤五郎（68歳・種川）


岡部　広（69歳・美利河）


柳　太一（64歳・栄町）


渡辺猶市（78歳・住吉）


小池種一（68歳・末広町）


清水伊勢吉（79歳・種川）


友善幸次郎（76歳・種川）


長谷川敬一（52歳・日進）


石井政吉（62歳・大和町）

教育功労者


清水正義（84歳・函館市）


犬上　博（62歳・白老町）

社会福祉功労者


原田陽元（67歳・本　町）


伊藤トミノ（63歳・南　町）


宗像朝司（82歳・美利河）

産業功労者


東条利夫（85歳・花石）


藤倉久左エ門（90歳・稲穂）


清水健次（55歳・種川）


伊藤綱義（63歳・南町）


笹森武雄（59歳・鈴金）


飯沼真佐夫（53歳・東町）

消防功労者


中野喜久次郎（72歳・神丘）


小岩隆一（68歳・種川）


内藤重蔵（75歳・旭町）


（故）西山五蔵（76歳・旭町）

梅村松次郎（61歳・花石）


大松保治（66歳・昭和町）

保健・衛生功労者


近藤角治（70歳・本町）


奥原留治（67・花石）


小山一広（64歳・花石）


沢口正一（62歳・種川）

庄印鼎富（87歳・昭和町）


岩間キサ（83歳・栄町）

感謝状贈呈者


富田守圀（56歳・八幡町）

◇公共事業善行者

女屋　儀八（87歳）本町
井村　金蔵（78歳）種川
柴谷　勝後（47歳）神丘
荒井彦五郎（50歳）昭和町

◇町職員永年勤続者

戸沢　定勝（52歳）大和町
石井　俊直（51歳）本町
重村　栄吉（53歳）昭和町
中井　誠司（49歳）昭和町

◇永年在住者

西　シマ（98歳）旧代
石川　りん（87歳）鈴岡
田中　多助（87歳）白石
天沼　ノブ（86歳）神丘
三島　燐松（86歳）八幡町
（故）坪川みつ（85歳）鈴金
岸　保次郎（84歳）種川
石川己之助（84歳）白石
島　ハツノ（83歳）中里
中村三次郎（83歳）旧代
水野　秀（81歳）金原
天沼　カエ（81歳）神丘
山崎　ミヨ（81歳）神丘
安達トメノ（80歳）花石
東条はるの（80歳）花石
坂本　ジウ（80歳）金原
西条谷三郎（80歳）旭町











町の花　チューリップ
町の木　い　ち　い

町花・町木の設定



今金民謡の製作

今金しぐれ

〽おらがふるさと　お米の出どこヨー
　牧場サイロも
　　ヤーレサーアー栄え行く
〽情け深雪　温泉にとけてヨー
　誰を招くか
　　ヤーレサーアー湯のけむり
〽恵み母なる　利別川はヨー
　村を拓いた
　　ヤーレサーアー親じゃもの
〽松の常代に　昔を聞けばヨー
　何も言わずに
　　ヤーレサーアー風の音
〽紅葉色づく　人目を引くがヨー
　滝のしぶきに
　　ヤーレサーアー濡れて散る



記念像の設置



全世帯に
〝風鈴〟贈呈



全児童・生徒に
〝鉛筆立〟贈呈









▲文化財展



▲町民体育祭



▲マミーコーラス





▲お　琴



▲町民テニス大会



▲書 道 展



▲吟道大会



▲囲碁大会



▲文 化 祭



▲千人おどり



▲北部方面音楽隊演奏会



▲道南選抜中学校野球大会



▲NHK 民謡と歌のつどい



▲敬老のつどい



▲祝賀仮装パレード



▲茶　会

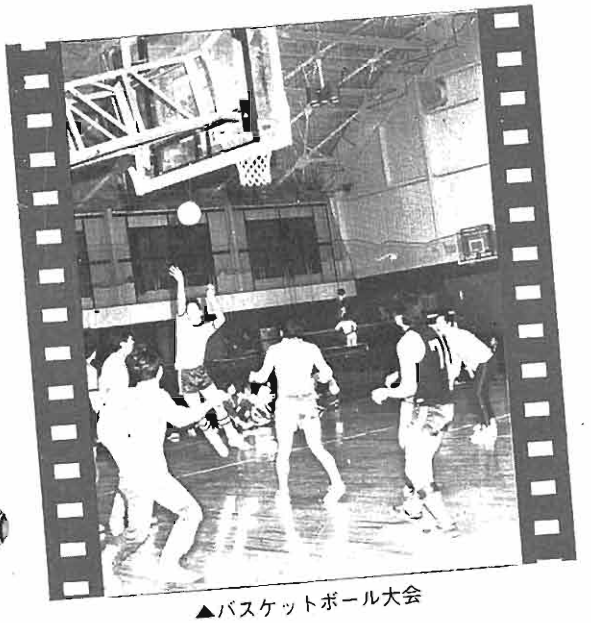


▲町民マラソン大会



▲バドミントン大会

▲産業まつり盆おどり



▲バスケットボール大会



▲少年少女かるた大会



▲バレーボール大会



▲レクリエーション　▲意見発表　▲講 演 会



発行／北海道今金町役場　編集／企画課広報係　制作／札幌ぼくしん　53・3・10